

住民の要望が実現する区の 予算・権限・システムの拡充を

- 子育てと高齢者の複合施設を公的責任でつくってほしい。
- 駐輪場の料金を下げてほしい。
- 百済貨物駅のトレーラー・貨物が2.5倍に。環境の問題、目を光らせてほしい。
- 局地的豪雨・防災対策について。

- 子どもの貧困について。
- 保育士の待遇改善を。
- 区役所窓口の待ち時間が長すぎる。
- 豊里矢田線が開通することになり、道路が閉鎖。横断歩道をつくって欲しい。
- 生活保護の住宅扶助の改善について。などの要望発言がありました。



6月9日、江川繁市会議員は住民団体などと対区交渉協議を行いました。1999年以来十数年間、ほぼ毎年行っているものです。

昨年5月に住民投票で大阪市の問題について多くの市民が関心を持ちました。大阪市の絶大な予算と権限を守り、区民の要望が実現するような住民参加システム、制度を作っていくべきとの意見が過半数を占め、存続となりました。そういった都市内分権など住民自治の参加拡充という意味では大変大きな役割、先例がこの交渉協議にはあると思っています。吉村新市長が誕生して初めての要望書に対する回答が出て、それを受けての交渉協議となります。区の予算や権限がどんどん拡大して、要望が実現するような協議になるようにと挨拶しました。

発言者 18名(別項)



区交渉協議で挨拶する江川議員

要望の5つの柱 (100項目)

- 1 みんなの声が生きるまちづくりをすすめる
- 2 区民の営業とくらしをまもる
- 3 高齢者、障がい者、母と子などにあたたかい福祉施策をすすめる
- 4 教育・文化・スポーツをすすめる
- 5 市民に開かれた公正・民主的な市政・区政をすすめる

区民が切望している充実した音響装置など備えた、文化ホール(区民センター)を早期につくってほしい。



<吉永さん> 今年度は600万の予算がついている。検討の中身は何か。PFIなど民間手法は全国的に破たんしている。東住吉会館を売却してお金を作ったかどうかという意見も出ているとか、売却には絶対反対。

<企画調整担当課長> 区民センターの整備・運営事業の実行の可能性・調査という事で予算がついている。東住吉会館を売却するというのは、決まっているわけではない。

子どもたちが気軽にボール遊びなどができる遊び場や公園を積極的に増やしてほしい。



<中田さん> サンヴェリエ針中野に住んでいる。小・中・高校生が私たちの団地にやってきて野球やサッカーをしている。突然ボールが飛んできて危ない。見に来てほしい。

<企画調整担当課長> いろいろな条件に合った場所はなかなか見つけられないが、建設局には伝えていきたい。



住民に切実な市バス26号系統はただちに復活してほしい。



<松田さん> 桑津2丁目に住んでいる。東住吉でもだいぶん北の方。26号系統が廃止された、復活してほしい。区役所に行くのにもすごい乗り換えロスがある。タクシーを使う人もいる。6号系統などと重複しているというが重複していない。

<政策推進課長> 乗り換えのわかりやすい情報をバス停に貼っている。
<江川議員> 区役所に行けないという基本的な問題だ。路線復活変更やコミュニティバスなど、必ず実現するよう強く要請する。



『市民が主人公』で 希望あふれる東住吉を

こんにちは **江川しげる** 市会議員 です

日本共産党

2016年8月発行 No.100

江川繁事務所
東住吉区湯里2丁目18-5
TEL 6705-4534 FAX 6705-4560

メールアドレス egawasso@plum.plala.or.jp
ホームページ http://egawa.main.jp

江川繁

検索

あなたのご要望があれば、江川事務所までおよせください。